

第6回 リレー講座 R5.10.7

2023 第6回 リレー講座を以下の通り実施しました。多数のご参加ありがとうございました。参加者の皆様の様子をご覧ください。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

担当者 群馬大学共同教育学部附属教育実践センター
准教授 阿部 充寿

日程等 10月7日(土)

場所 C105

講義内容 これからの学校教育を考えよう
- 中央教育審議会の資料等を通して -

- ・学校って何のためにあるの？
- ・子供たちが生きる社会と日本の現状
- ・教育振興基本計画等の資料から
- ・これからの学校教育について



参加者の声より一部抜粋

- ・今後の教育を考えていくうえで、視点や発想の転換が必要なのだと感じました。そのためには教員自身の「今、何が必要か、何が求められているのか」という意識が大きくかかわってくるので、これからも学び続け、自らを高めていきたいと思います。
- ・これからの学校教育、つまり、これからの日本を作っていくのは我々教員の仕事なのだと思う。様々な課題のある社会の中で、今まで通りの教育では日本はダメになってしまう。解決できる未来の担い手を育成するためにも指導のあり方を考えていこうと思いました。
- ・非認知能力から生成 AI まで、今まさに研究のテーマとして取り掛かりたいと思っているものばかりで大変勉強になりました。これからの教師の在り方も考えながら、未来を見通して今の自分をアップデートしていこうという思いになりました。
- ・現在の日本が置かれた状況を踏まえ、目指すべき教育の形について様々な発見があった。また、多くの資料を紹介していただき、より具体的に理解することができた。「自制心」というワードを特別支援教育においてどのようにしていけばよいかを深く考えることができました。
- ・学校は生きる力の教育の最先端を担うべき機関で、そこを担う私たち教員は日々変わっていく社会を敏感に感じ取りながら、将来の宝である子供たちの資質・能力を育てていきたいと感じました。
- ・これからの教育を担うものとして、今まで自分が社会の変化や教育の変化に目を向けてきた以上に、今日は社会の様々な変化を知ることができました。そして、その変化をきちんと知ったうえで、子供たちに教えていくことが大切なのだと思います。今日学んだことを今後の実践に生かせるように、振り返りをしっかりと行いたいと思います。
- ・生成 AI など、さまざまな技術の発達により、可能性が広がっていく教育現場に興味がわくとともに、自分自身も学び続ける・成長し続けられるような教師でありたいと感じた。
- ・今後自分が教育を行う際に、子供たちの将来や社会の未来を見据えた教育が求められていることをもっとしっかりと考えていく必要があると感じました。非認知能力は重要だとわかるものの、測りづらい能力であるので、今後も考えていきたいです。
- ・今後の学校がどんな姿になっていくのか…今日の授業を受けて教員自身が常に学び続けていかなければいけないと、身が引き締まる思いでした。